

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和元年10月2日

①学校名:	青森県立保健大学	②所在地:	青森県青森市大字浜館字間瀬58-1		
③課程名:	健康科学研究科健康科学専攻 博士前期課程CNSコース(がん 看護学領域)	④正規課程/履修 証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	2017/4/1
⑥責任者:	健康科学研究科長 佐藤 伸	⑦定員:	博士前期課程10名 (平成30年度CNSコース(が ん看護学領域)修了者数3 名)	⑧期間:	2年間
⑨申請する課程 の目的・概要:	<p>目的:高度化・専門分化が進むがん医療の現場において、がんに関する高度な専門的知識・技術を基盤とし、複雑で対応困難な健康問題を抱えた個人、家族および集団に対して、ケアとキュアを統合させた高度な看護実践を行うことのできる看護師を育成する。</p> <p>概要:青森県で唯一のがん看護専門看護師養成コースであり、本コースでは、住み慣れた地域でがん患者と家族が望む生活の実現に向けて総合的な判断と組織的な問題解決力を培い、高度の看護実践を行うことのできる看護師の育成を目指した教育を行う。具体的には、複雑な問題を持つ患者や家族に対する高度で専門性の高い看護の提供、チーム医療の一員としての総合的な判断と組織的な問題解決の実践、さらに教育や組織の課題に取り組むことができる人材、また、専門看護師として現場での看護を改善し、根拠に基づいてケアを実践するために実践上の課題を解決することができる人材の育成を目指した教育を行う。特に「がん薬物療法看護」と「緩和ケア」を専門とする看護師の養成を行う。</p>				
⑩4テーマへの 該当の有無	無	⑪履修資格:	<p>(令和2年度入学者の場合) 次の2つの基準を満たすもの者で、かつ本学が実施する入学試験に合格した者 1.一般選抜の出願資格の条件を満たす者 2.看護師免許を有すること</p> <p>(1)一般選抜の出願資格(次のいずれかに該当) ① 学校教育法第83条の大学を卒業した者(又は令和2年3月31日までに卒業見込みの者) ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者(又は令和2年3月31日までに授与される見込みの者) ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(又は令和2年3月31日までに修了見込みの者) ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者(又は令和2年3月31日までに修了見込みの者) ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(又は令和2年3月31日までに修了見込みの者) ⑥ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(又は令和2年3月31日までに修了見込みの者) ⑦ 文部科学大臣が指定した者(昭和28年2月文部省告示第5号) ⑧ 学校教育法第83条の大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院において認められた者(令和2年3月31日までに在学又は修了見込みの者を含む) ⑨ 短期大学及び高等専門学校の卒業生、専修学校専門課程の修了者等の大学を卒業した者以外の者で、次のア～オのいずれかを満たし、かつ、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院において認められたもの(令和2年3月31日までに満22歳に達するものに限る) ア 学会発表もしくは学術誌等での論文発表があること イ 職務上の業績があること ウ 研究生として本学又は他の教育研究機関に1年以上在籍し、成果を収めていること エ 管理栄養士の資格を有すること、又は栄養士の資格を有し栄養士として3年以上の実務経験を有すること オ 研修学校(厚生労働省、看護協会、都道府県など公的又はそれに匹敵する機関の6ヶ月以上の看護教員養成課程)又は継続教育(看護管理者養成課程、認定看護師教育課程)などを修了していること ⑩ その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院において認められた者</p>		

⑫対象とする職業の種類:	看護師					
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ○がんの病態生理および診断・治療に関する専門的知識 ○がん看護実践の基盤となる主要理論とその活用方法に関する知識 ○がん患者・家族に対する看護援助方法に関する知識・技術 ○がんの教育・普及啓発に関する知識・技術 ○がん看護に関する教育・相談活動に必要な知識・技術 ○医療提供システム内の調整に関する知識・技術 ○がん看護に関する倫理的課題への支援方法の知識・技術 ○がん看護における課題を捉え、探究できるための知識・技術		(得られる能力) ○エビデンスに基づいた確かな臨床判断を行うことができる能力 ○熟練した高度なケア技術とケアの知識を用いてがん患者・家族に対して看護を実践することができる能力 ○社会に対し、がんの予防・早期発見のための教育・啓発および教育相談ができる能力 ○医療・看護職者に対して、がん看護に関する教育・相談活動ができる能力 ○がん患者を取り巻く医療提供システム内を調整することができる能力 ○がん患者の人権を擁護するために適切な倫理的判断を行い、判断に基づいた態度と行動をとることができる能力 ○がん看護に関する専門的な知識や技術を深めるための研究を積極的に実施することができる能力			
⑭教育課程:	がん看護専門看護師として必要な能力を育成する科目として、看護理論特論、看護研究方法論、看護教育論、看護コンサルテーション、看護倫理学、アドバンスト・ヘルスアセスメント、臨床病態生理学特論、臨床薬理学特論等を置く。 がんに関する高度な専門的知識・技術、がん看護の対象者の理解と看護支援のための知識・技術を育成する科目として、がん看護特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、がん薬物療法看護論、がん薬物療法看護演習、緩和ケア論、緩和ケア演習を置く。 上記講義では、事例分析やグループ討議、フィールドワーク等を入れることで、看護実践向上を目指すカリキュラムとしている。さらに、がん看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴの科目を置き、臨床現場での看護過程展開、看護スタッフへの教育や多職種との連携・調整等の実践を行うことで、がん看護の実践力、臨床判断能力、教育・相談能力、専門職者間の調整能力、倫理的課題の調整能力等を修得できるよう構築されたカリキュラムとしている。					
⑮修了要件(修了授業時数等):	2年以上在学し、本コースが定める科目から40単位以上を修得することである。このうち課題研究については必要な研究指導を受けたうえ、課題研究論文審査及び最終試験に合格すること。					
⑯修了時に付与される学位・資格等:	修士(看護学)					
⑰総授業時数:	44 単位	⑱要件該当授業時数:	44	該当要件	企業等双方向実務家	⑲要件該当授業時数／総授業時数: 100%
⑳成績評価の方法:	授業科目を履修し試験に合格した者に所定の単位を与える。ただし、試験は筆記試験に限らず、論文、レポート、実技の成績等によってこれに代えることがある。					
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。継続的質向上委員会において、成果の検証や評価を行う。また、当該検証・評価結果についてはホームページにおいて公表する。					
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了生を対象とした学習会・事例検討会の開催を予定(令和元年9月6日実施済、令和2年3月予定)しており、平成31年3月の修了生3名(1期生)の看護実践活動等の情報収集および教育効果を検証する予定である。					

<p>⑳企業等の意見を取り入れる仕組み:</p>	<p>(教育課程の編成) 実習施設の看護管理者、実習調整担当者、実習病棟看護責任者、実習指導者と教員で組織する調整会議等(実習開始前の打合せ会議、学生の学修内容の確認・共有・指導・助言を行うカンファレンス、実習終了後の会議)の場で、実習科目及び教育課程全体に対する意見交換を行い、次年度以降の教育課程編成に意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 本学では、いわゆる内部質保証を継続的な質の向上と捉え、副学長、研究科長、学部長、学生部長、附属図書館長、地域連携・国際センター長、研究推進・知的財産センター長、各学科長等により組織する継続的質向上委員会に、各部局・学科が所掌する各委員会の審議事項を網羅的に集約し、PDCAサイクルに則して一元的に点検・評価、さらに是正・改善を実施するための体制を設けている。</p>
<p>㉑社会人が受講しやすい工夫:</p>	<p>夜間、土日開講、夏季集中講義、Web-ラーニングによる遠隔授業、長期履修制度(3年間。ただしCNSコースを除く。)を導入している。</p>
<p>㉒ホームページ:</p>	<p>(URL) https://www.uhw.ac.jp/daigakuin/</p>

<p>事務担当者名:</p>	<p>大西 学</p>	<p>所属部署:</p>	<p>教務学生課</p>
<p>連絡先:</p>	<p>(電話番号) (E-mail)</p>	<p>017-765-2008 m_oonishi2@uhw.ac.jp</p>	

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。